

人むすびの場

第12回テーマ

“街・社会に一人ひとりの力を活かすために”

日時	平成21年6月24日(水) 午後7時～9時
会場	スペースU
企画運営	“人むすびの場”づくり企画運営チーム

“人むすびの場”をともに創りませんか？

- 「むすび(産霊)」とは、ものを生み出す力のことを表す古語です。場には、不思議な力が宿ります。何かが生まれ行くエネルギーに満ちています。
- “人むすびの場”は、人と人の思い、能力・スキルを結び合わせ、創発のパワーを発揮して、新しい共生(ともいき)の世界を切り拓いていく、つながりづくりの場を意図しています。
- 私たちの世界は、「人と自然」「人と人」のつながりが薄くなり、様々な問題を抱えています。でも世の中には人財、知恵もそこかしこにあり、結び合うことで問題解決のパワーも生まれてくるに違いありません。
- そのため、お互いの思いと知恵を分かち合う対話と創発の場をご一緒に創っていきませんか？
- 場を活かし、つながりを創り、行動していきたい！ こんな思いをつなぎ、今まで自分のやりたかったことに、さらに発展的に取り組むきっかけづくりにしていただけたらと思います。
- “人むすびの場”を、単なる勉強会や異業種交流会とは考えません。「生きがい」とか「やりがい」とは何か、ちょっとしたことから世の中がよくなったら嬉しい・・・このような思いを分かち合うことから、何かが変わることを信じている人々の集まりにしたいと思います。
- 「人むすびの場づくり企画運営チーム」へも是非ご参画ください。
- 新しいアイデア・企画の提供などもろもろご意見をお待ちします。



プログラム

- 19:00 ◆オリエンテーション 人むすびの場とは
“人むすびの場”づくり企画運営チーム 高重 和枝
- 19:05 ◆スピーチ
「**街・社会に一人ひとりの力を活かすために**」
吉澤 卓さん
(開国博Y150 市民参加ディレクター、「イマジン・ヨコハマ」事務局)
- 19:40 ◆人むすびカフェ
ファシリテーター 角田 知行さん
- 20:55 ◆本日のまとめ
- 21:00 終了
交流会(うさぎ)

「街・社会に一人ひとりの力を活かすために ～開港150周年、横浜のトライアルから～ ゲストスピーカー 吉澤 卓さん



開港150周年の横浜、一人ひとりから「これからの150年を創る！」・・・という思いで取り組んでいます。

- 今回のプロジェクトで大切にしていることは三点。①「人が地域や社会に関わるためのしかけとしてのイベント」の可能性。②「プロセスを共有することの重要性。そのためのロジスティクス設計が大事」。③「ファシリテーションとディレクションの両立」ということです。
- イベントの可能性を追求し、プロセスを共有するために、情報インフラを活用する必要があり、ITを活用しながら、ITリテラシーの違いに対応しています。
- また、限りある時間と資源の中で形あるものに到達するためには、主体がだれなのか、その方向性は主人公のなかにあるかを見つけています。
- 二つの事業を実施。市民創発事業としての「開国博Y150」と市民参加型都市ブランド構築プロジェクトの「イマジン・ヨコハマ」です。
- 開国博Y150は、4月から9月までベイサイドとヒルサイド等で行っています。ヒルサイド市民創発は、市民スタッフによるプロセス型出展事業で、有料会場に自分のテーマ・内容を出展するものです。
- 「私からはじめるこれからの150年」のテーマで、コ「私」・ココ「此処」・ココロ「心・思い」・ココロミ「試み」をキーワードに、10代から80代までの参加者が「つながり」のムーブメント形成に携わっています。
- 「イマジン・ヨコハマ」は、横浜市が主催で、1年間かけて実施。さまざまな参加の仕組みを駆使して、多くの市民の声を反映した「都市ブランド」を構築します。アウトプットは主催側(市+委託側事務局)で行います。
- 5月9日に1000人ワールドカフェが終了し、その後「つながり市民インタビュー」を実施しています。今後は、集約ワークショップ等により、「市民意見まとめ」「マーク作成」を経て、「都市ブランド」広報を展開していきます。



【吉田 卓氏 紹介】

開国博Y150 市民参加ディレクター、「イマジン・ヨコハマ」事務局。
ファシリテーションやワークショップづくりを原点に、愛・地球博でNPO/NGOが参加した地球市民村事務局や今回の横浜開国博Y150など、イベントを通じて街や社会に人がもっと積極的につながる機会づくりに関わってきた。

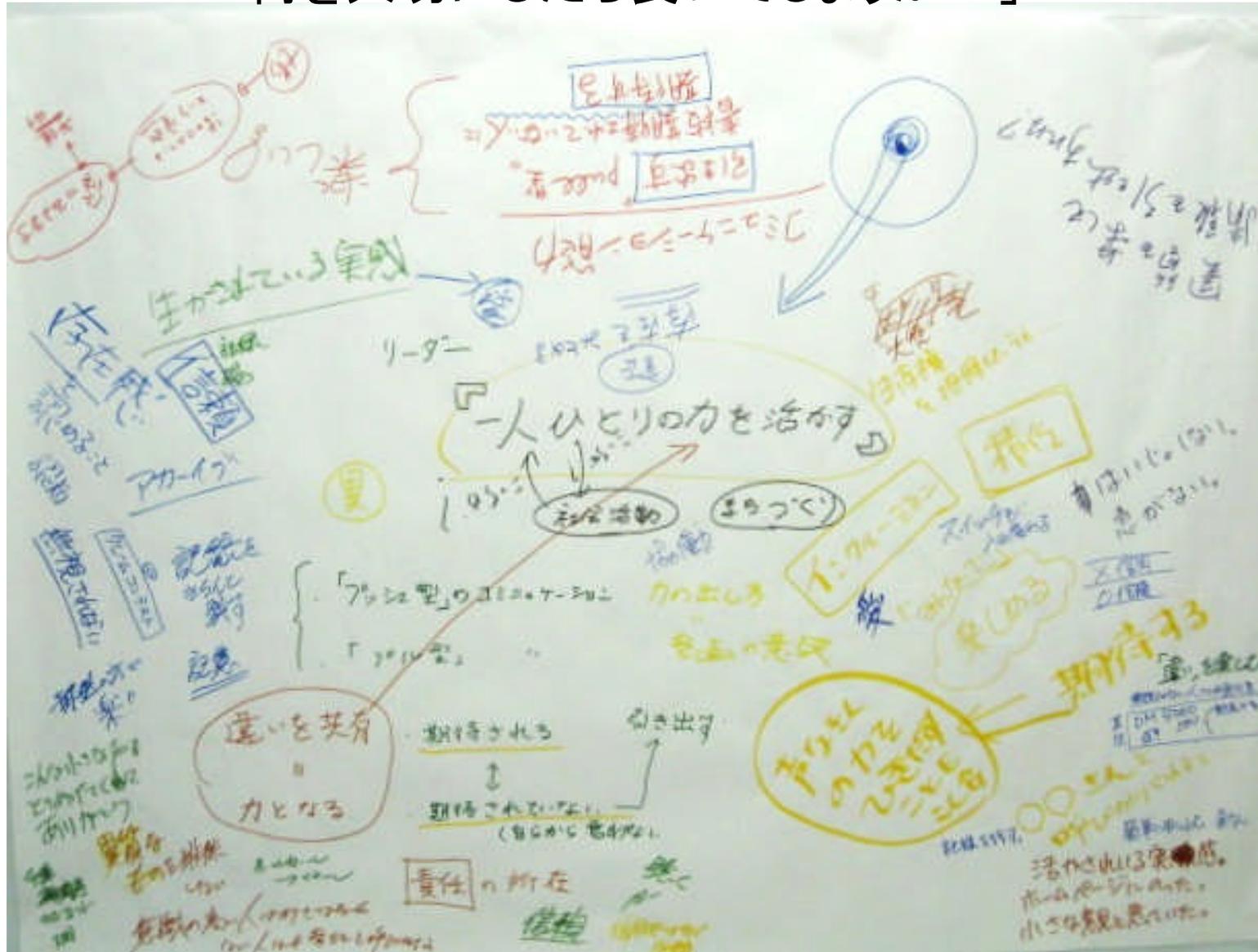


人むすびカフェ



人むすびカフェ

「まちづくりや社会活動において、一人ひとりの力を活かすためには、何を大切にしたら良いでしょうか？」



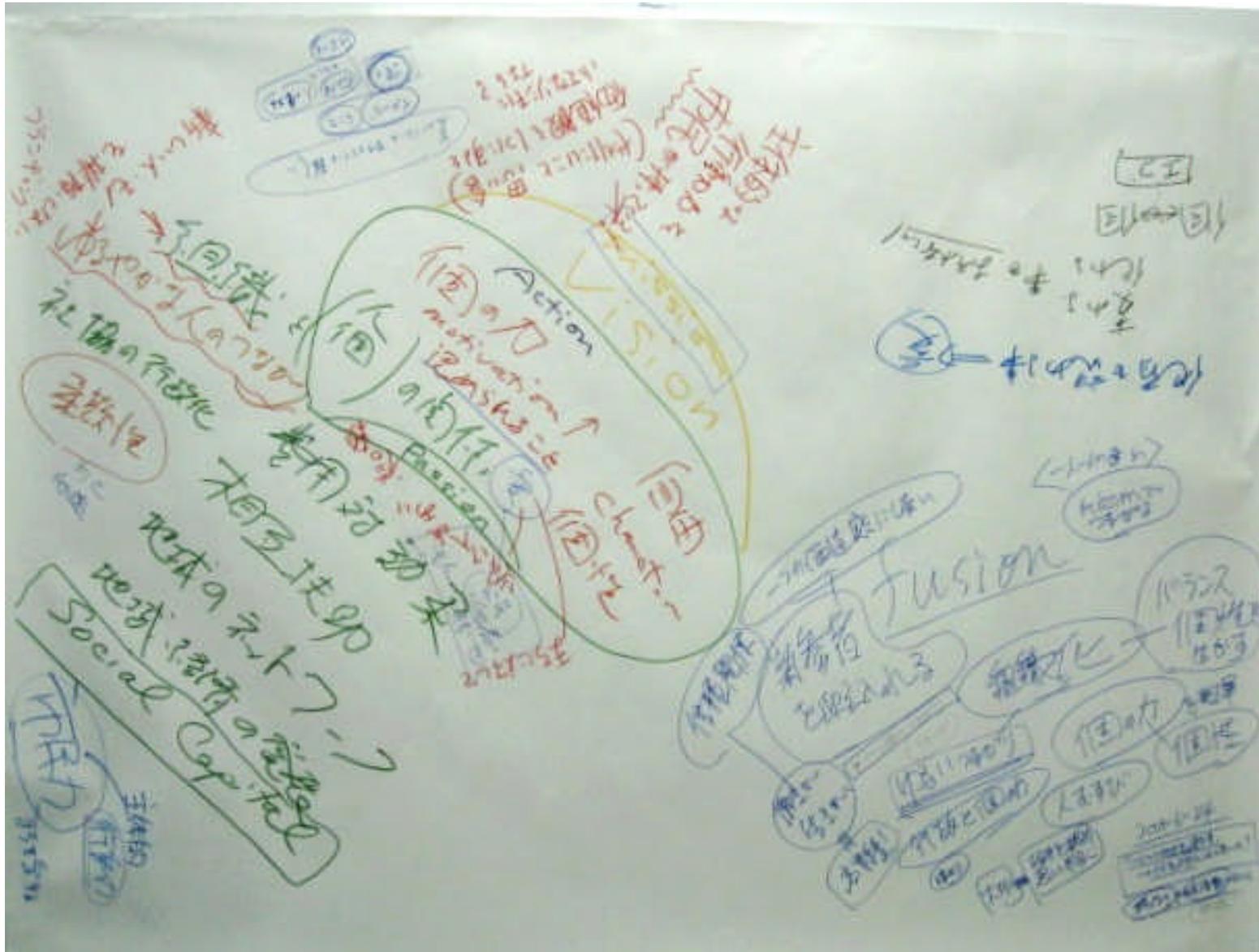
人むすびカフェ

「まちづくりや社会活動において、一人ひとりの力を活かすためには、何を大切にしたら良いでしょうか？」



人むすびカフェ

「まちづくりや社会活動において、一人ひとりの力を活かすためには、何を大切にしたら良いでしょうか？」



人むすびカフェ

「まちづくりや社会活動において、一人ひとりの力を活かすためには、何を大切にしたら良いでしょうか？」



本日の感想①ー1

* 今日、どんな気づきがありましたか？

- ・自分とは、全く違う視点・発想を持った人の意見に触発された。しかし対話が進む中で、ベースでは結構同じようなことを考えているということ。
- ・ぶつかり合いで生まれる上昇だけでなく、多様性を認めただけで、コミュニケーションによる上昇もあるんだなあと思いました。
- ・参加＝生存という視点
- ・生かされているという意識 信頼
- ・まず人を見て次に中身を考える
- ・一人ひとりと活かす自主性という前に、一人ひとりが活かされることが大切ではないか
- ・規模によって、一人ひとりの活かし方が違うなあと思いました
- ・組織と脳の働きの類似点
- ・人を動かす(行動・心・愛)
- ・参加から協働へ進むのは大変

本日の感想①-2

* 今日、どんな気づきがありましたか？

- ・ゆるやかなネットワーク
- ・組織と個人の関係はゆるやかに
- ・個人とは何か？
- ・人間は自分のためより他人のために動くほうが喜びが大きい
⇒ 存在価値が上がる ⇒ 自発的に活動するようになる
- ・色々な人、色々な考え、色々 Colorは素敵
- ・“多様性”を認める「ゆるいルール」の存在ということは言葉
- ・記録に残る喜び(例 神社に名前など)
- ・主催者が意見を住民に伝えるには、やはり地道な説明会しかないですねー。
- ・普段仕事(活動)で議論していることを、NPOでない人達とも共有できるんだと思いました。
- ・個々の脳細胞は間違いを犯すが、最終的に正しい結果を生む。
- ・一人ひとりの力を最大に生かす知恵が大切(まち作り、社会活動)

本日の感想②

* 一番、印象に残ったこと(キーワード)はどんなことでしたか？

- ・信頼がベース
- ・愛(2)／愛は全てに通ず
- ・一人ひとりに期待すること ⇔ 一人ひとりの力を活かす
- ・「一人ひとりの力を活かす」という価値観が必要
- ・やっぱり人間次第
- ・・“ボランティアな意思”
- ・違いの共有
- ・やっぱり「信頼」
- ・期待すること、ゆるやかなネットワーク
- ・緩やかなネットワーク
- ・個と組織の関係の難しさ
- ・個人間の葛藤を解決するのは愛
- ・ゆるやかなつながり、フレキシブルな組織
- ・多様性、存在を認め合う
- ・「ゆるいルール」とは“参加”というプロセスに自然発生的に生まれるという条件だそうだ(WILIPEDIAにあるらしい)
- ・認められたい。他人の役に立ちたい。

本日の感想③ー1

* その他、よかったこと、残念だったこと、質問など、ご自由に。

- ・多様なバックグラウンドを持つ人達と話ができて新鮮でした。
- ・もっと話していたかった。
- ・机の奥行きがもう少し浅いといいかもです。
- ・声なき声を聞かなければいけない。
- ・実例としてこんなに多くの人に参加した取り組みの話が聞けて良かったです。
- ・今日のテーマは珍しく難しかった。それでも、あらゆる方向から話題を発散／発展させる面々が多かったので感心した。
- ・時間の制約
- ・同じテーマでも多様なご意見、視点があったことはよかった。
- ・皆、NPO的なことを潜在的に求めているのかなあと思いました。

本日の感想 ③ー2

* その他、よかったこと、残念だったこと、質問など、ご自由に。

- ・他の人の思いや、考え方が聞けて、大変参考になった。
- ・遅刻してお話が伺えず、残念！
- ・初めてワールドカフェに参加しました。もっと話をする時間がほしかった。時間が短く感じました。
- ・今日のテーマは深かった。
- ・抽象的ではありましたが「滅公奉私型」ということが面白かった。
- ・だんだん参加者が増えてきました。

テーマのお願い⇒NPO・ボランティア・企業に限らず、「企業家を増やすには何が
必要か？」

皆さん、ご一緒に場をつくってくださってありがとうございました。